

上三川町は町村合併60周年を迎えました!!

昭和30年(1955年)4月29日、上三川町、本郷村、明治村が合併し、現在の上三川町が誕生しました。今年度、町村合併60周年を迎える上三川町。その町の姿を様々な角度から、1年間に渡りご紹介します。

第8回は、上三川の歴史・文化財です。長きにわたって続く上三川の歴史をその時代ごとの文化財とともに紹介します。

その1 幕を開ける上三川の原始

私たちの住む上三川町には、多くの歴史と文化財が残されています。約60の遺跡と約200基の古墳があり、古いものははるか1万年の時を超えて、私たちに歴史を伝えてくれています。ここでそのすべてに触れることはできませんので、その中の一部を紹介したいと思います。

旧石器時代の遺跡は、殿山遺跡や多功南原遺跡など少ないながらも数カ所見つかっています。次の縄文時代になると、遺跡数は増加します。なかでも島田遺跡からは、たくさんの縄文土器とともに集落の跡が見つかります。また、町内各地にいまも残る古墳は、当時の有力者たちの存在を私たちに教えてくれます。

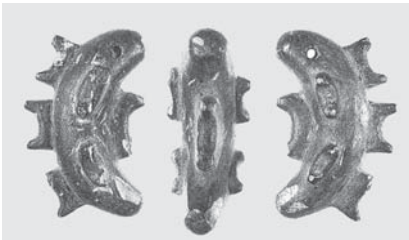
こうした遺跡の発見により、上三川町は古来より多くの人々が生活を営んでいた土地だということが分かりました。



西赤堀塚古墳出土の人物埴輪



愛宕塚古墳の石室



殿山遺跡出土の子持ち勾玉 まがたま



島田遺跡出土の縄文土器

古墳時代			弥生時代			縄文時代			旧石器時代		時代											
6世紀頃	574	538	4世紀末~5世紀初	3世紀後半	239	2世紀後半	57	1世紀頃	BC1000頃	BC3000頃	西暦											
愛宕塚古墳が築かれる(上三川)	かぶと塚古墳が築かれる(上三川)	上郷瓢箪塚古墳が築かれる(上郷)	西赤堀塚古墳が築かれる(西汗)	聖徳太子が生まれる	百濟より仏教が伝来する	浅間神社古墳が築かれる(上神主)	古墳時代のはじまり	倭国大乱が起る	卑弥呼、魏に使者を送り、「親魏倭王」の金印を賜る	倭国大乱が起る	殿山遺跡集落の形成(ゆうきが丘)	57	1世紀頃	古野ヶ里遺跡の環濠集落の最盛期(佐鶴泉)	弥生時代のはじまり	BC1000頃	大町遺跡の形成(上三川)	島田遺跡の形成(しらすぎ)	三内丸山遺跡の形成(青森県)	縄文時代のはじまり	後期旧石器時代のはじまり	縄文時代

その2

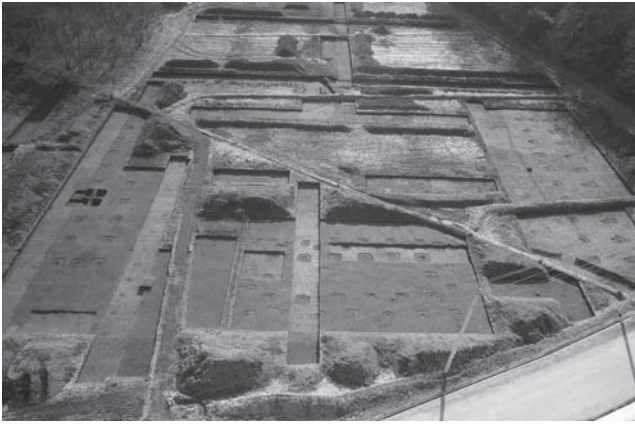
発掘された上三川の古代

飛鳥時代から平安時代になると、大規模な遺跡が営まれるようになります。事実、多功南原遺跡・西赤堀遺跡からは、集落跡と倉庫群の跡が見つかっています。そして、なんといっても上神主・茂原官衙遺跡は、当時の上三川を語る上で重要な遺跡であり、国指定史跡にもなっています。

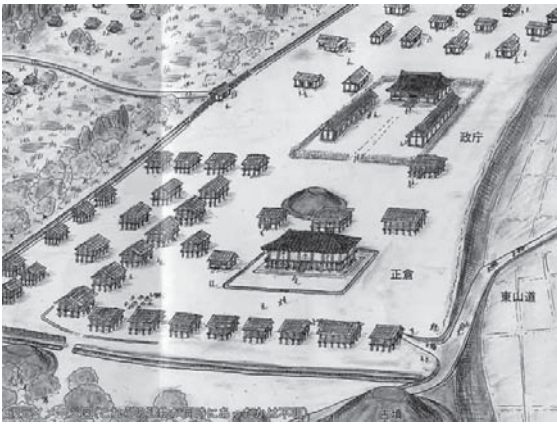
上神主・茂原官衙遺跡は発掘調査の結果、古代下野国の9つの郡のうちの一とつ、河内郡の役所跡の可能性が高いと考えられています。また、人名を刻んだ文字瓦を出土することで古くから知られています。

当時の河内郡内には10の郷があり、上三川一帯は三川郷に属していたと考えられています。それを裏付ける資料として、「三川」と墨書された土師器が多功南原遺跡から見つかっています。上三川の地名の由来に迫る貴重な資料です。

当時の上三川が、古代の河内郡の中心的役割を果たしていたことが明らかとなっています。



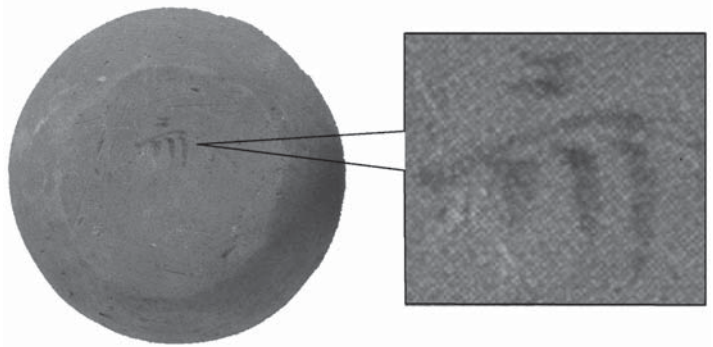
政庁域の発掘調査時の状況（黒くシミのように見える部分が柱の跡）



官衙の復元イラスト



人名文字瓦の出土状況



底面に「三川」と墨書された土師器（多功南原遺跡出土）

平安時代									奈良時代					飛鳥時代			時代				
1185	1088	1007	940	894	889	807		794	784	783	770	767	741	710	701		694	684	645	西暦	
文治元	寛治2	寛弘4	天慶3	寛平6	寛平元	大同2		延暦13	延暦3	延暦2	宝亀元	神護景雲	天平13	和銅3	大宝元					西暦	
平家一門、壇ノ浦にて滅亡	見性寺が建立されたといわれる(多功)	多功天満宮が建立されたといわれる(多功)	平将門の乱を藤原秀郷が平定する	遣唐使の廃止	上郷神社が建立されたといわれる(上郷)	宝光院が建立されたといわれる(多功)	このころ西赤堀遺跡の倉庫群が形成される(西汗)	平安京へ遷都	長岡京へ遷都	白鷺神社(白鷺明神)が建立されたといわれる	道鏡、下野薬師寺別当となる	満願寺が建立されたといわれる(東汗)	聖武天皇、国分寺造立の詔を出す	平城京へ遷都	大宝律令が制定される	上神主・茂原官衙遺跡、多功遺跡、多功南原遺跡が形成される	このころ下野薬師寺が建立される	藤原京へ遷都	下毛野古麻呂、朝廷より朝臣の姓を賜る	大化の改新が起る	文化

その3

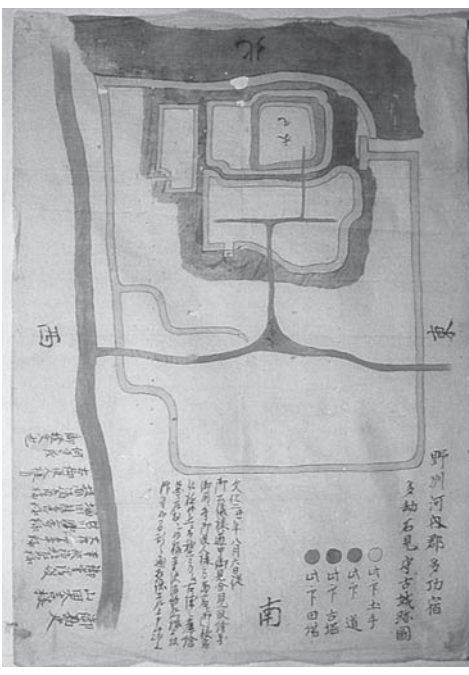
知られざる上三川の中世

上三川の中世といえば、なんとといっても上三川城と多功城を語らなければならぬでしょう。

時は鎌倉時代、この地は宇都宮氏が支配していました。その5代当主・宇都宮頼綱の四男・多功宗朝が宝治2年(1248)に多功城を築き、次男・横田頼業が建長元年(1249)に上三川城を築きました。この2城は、宇都宮城南域の守りの要として、戦国時代の終わりまで蒙原の合戦など数々の戦いをくぐり抜け、動乱の世に多くの武勲を残しました。

しかしながら、慶長2年(1597)に宇都宮氏の後継問題に絡む争いで上三川城は真岡城主・芳賀高武に攻められて落城し、同年、宇都宮氏の改易に伴い、多功城も廃城となりました。

こうして上三川の中世は幕を閉じ、時代は次の江戸時代へと移り変わっていきます。



多功城絵図面



多功城跡の碑



公園整備前の上三川城跡

安土桃山時代			室町時代						鎌倉時代						時代						
1597	1590	1582	1573	1504	1473	1467	1430	1380	1300頃	1338	1333	1325	1322	1301	1249	1248	1221	1192	西暦		
慶長2	天正18	天正10	元龜4	永正元	文明5	応仁元	永享2	康暦2	應安年間	建武5	正慶2	正中2	元享2	正安3	建長元	宝治2	承久3	建久3	西暦		
宇都宮氏が改易される	上三川城が落城する	豊臣秀吉による宇都宮仕置	本能寺の変が起こる	室町幕府が滅びる	長泉寺が建立される(上三川)	普門寺が建立される(上三川)	感応寺が建立される(石田)	豊原の合戦が起こる	このころ延命院が建立される(梁)	足利尊氏、征夷大將軍となる	鎌倉幕府が滅ぶ	正清寺が建立される(上三川)	善応寺が建立される(上三川)	浄光寺が建立される(大山)	西念寺が建立される(多功)	城主は横田頼業 上三川城が築城される(上三川)	多功城が築城される(多功) 城主は多功宗朝	承久の乱が起こる	このころ満福寺が建立される(東夢沼)	源頼朝、征夷大將軍となる	室町

その4

今につながる上三川の近世

幕末の大スター、新撰組鬼の副長・土方歳三は、ここ上三川町にもその足跡を残しています。

慶応4年(1868)4月18日、戊辰戦争における宇都宮城の戦い前夜、土方率いる旧幕府軍別働隊は鬼怒川を渡って満福寺に陣を置きました。翌朝、土方は捕らえていた官軍側の黒羽藩士3名を表門前で処刑して、宇都宮城へと進軍していききました。いまでも寺の境内には、その時処刑された黒羽藩士のお墓が建てられています。



満福寺の表門前

田村仁左衛門吉茂は、寛政2年(1790)、下蒲生村の名士の家に生まれました。「農業自得」は、吉茂が自ら体得した農業技術や経営についての研究成果をまとめた本で、現在の農業にも影響を残しています。



田村仁左衛門吉茂の肖像と『農業自得』の原本と版木



手カンナによるかんぴょうむき

上三川町の特産品といえばかんぴょうです。その原料である夕顔の栽培は、正徳2年(1712)に壬生城主となった鳥居忠英が壬生藩に栽培方法を伝えたことにはじまるといわれます。その後、壬生藩を中心に各地に広がり、上三川町にも伝わったと考えられます。

江戸時代には、輪切りにした夕顔の実を小刀で外側から剥いていたようです。明治時代に入り、手カンナが考案され、輪切りにした夕顔の実のわたを抜き、内側から剥くようになりました。

明治時代以降										江戸時代										時代		
1955	1945	1941	1914	1904	1894	1893	1891	1888	1873	1871	1868	1867	1841	1782	1712	1633	1623	1603	1600	西暦		
昭和30	昭和20	昭和16	大正3	明治37	明治27	明治26	明治24	明治21	明治6	明治4	慶応4	慶応3	天保12	天明2	正徳2	寛永10	元和9	慶長8	慶長5	西暦		
現在の 上三川町が誕生する	終戦	太平洋戦争はじまる	第一次世界大戦はじまる	日露戦争はじまる	日清戦争はじまる	上三川村が上三川町となる	多功村が明治村となる	町村制施行により上三川村・本郷村・多功村が誕生する	現在の栃木県が誕生する	廃藩置県を断行する	宇都宮城の戦い前夜、土方歳三率いる隊が満福寺に陣を敷く	戊辰戦争が起こる	徳川慶喜、大政奉還をする	下蒲生村の田村仁左衛門吉茂が『農業自得』を著す	天明の大飢饉が起こる	近江国の鳥居忠英が壬生城主となり、同時に千瓢の栽培を伝える	上三川城付領が旗本21名に分給される	成田氏の改易に伴い、その所領が一時天領となる	徳川家康、征夷大將軍となる	このころ上三川一帯は鳥山藩成田氏の所領となる	関ヶ原の戦いが起こる	時代